

事例

子供たちに残したい漁業集落
～アジやトラフグの魚食普及を通じて～しんまつうら
新松浦漁業協同組合（長崎県）

長崎県^{まつうら}松浦市は、多種多様な漁業及び養殖業が営まれ、全国でも有数のアジの水揚げ量及びトラフグの養殖業生産量を誇る水産業が盛んな地域です。新松浦漁業協同組合では、そうした松浦市の水産業を子供たちに知ってもらい、地域を活性化することで、後世に漁業集落を残していこうと、様々な魚食普及の取組を行ってきました。

例えば新松浦漁業協同組合女性部は、平成15（2003）年から、県外の中学生及び高校生の民泊受入れと、地元の子供向けの魚料理教室を実施しています。魚料理教室では、地元で水揚げされたアジを使い、三枚おろしやアジフライ作りに挑戦してもらうことで、子供たちに地元の魚に対する親しみを持ってもらいます。

平成25（2013）年からは、「いいフグの日」（11月29日）にちなみ、学校給食でトラフグの唐揚げを提供する取組を行っており、現在では市内全ての小・中学校でこの取組が実施されています。食材を提供するだけでなく、養殖業者が学校を訪問し、トラフグの特徴や養殖の方法について説明したり、子供たちにも分かりやすい資料を配布することで、地元の水産業への関心を醸成します。

新松浦漁業協同組合では、今後もこうした取組を通じて、魅力ある漁業集落を子供たちに残していくことにつなげていきたいと考えています。



魚料理教室でアジ料理に挑戦



トラフグについて説明を受けた児童からお礼の言葉